

令和元年度 職場見学バスツアー ご報告 (速報版)

日 程：令和元年10月2日（水）

ご訪問先：医療法人 稲生会 様

社会福祉法人 緑花会 松泉学院 様

参 加 者：13名

毎年、このツアーの日は天気がとても良いです。

良い天気を通り越して、10月なのに30℃近くに上がり夏のような暑さでした。

この見学ツアーの参加者は行動援護等のヘルパーがほとんどで、自分の担当利用者さんの訪問や外出の場面以外の経験がどうしても少なくなってしまうため、とても要望の高い研修のひとつです。

今回は上記2法人様にお伺いさせていただきました。法人様ごとに参加者からご報告のレポートを、今月末までに改めてホームページにアップさせていただきます。

このレポートでは概要版ということで、写真で雰囲気をお伝えいたします。



医療法人 稲生会

企画戦略室長 高波 千代子 様

イリバ 部門管理者 梅村 圭 様

医療的ケア児等への地域生活支援を、医師、看護師、福祉支援者がフラットな立場で連携し、つくりあげていらっしゃるお話をお聞きし、感銘を受けました！



社会福祉法人 緑花会 松泉学院 / すまいる
 施設長 加藤 あさ子 様
 支援部長 大洞 篤志 様

施設入所等での環境面や支援での様々な工夫
 や、グループホームの取り組みなどを見学させ
 て頂きました！
 大きなお風呂からは、小樽の海を望む絶景ポ
 イントでした

札幌での医療的ケア児への支援はこれまでは立ち遅れていた印象を個人的にはもっていましたが、稲生会さん等のお力により、逆にいまでは全国的にも最先端かつ、ご本人、ご家族とともに確固たる地域生活を築き上げつつある状況に、みなさまのパワーを感じました。

松泉学院さんでは、規模の大きさを活かした幅の広い事業活動に目が行きがちですが、個々に合わせた活動提供や視覚支援等の工夫、そして重度障がいの方の入所から地域移行の取組と、ご本人の側に立つことの大切さを学ばせて頂きました。とくに、施設での高齢化については、待ったなしの課題であることも再確認させて頂きました。

見学者であるわれわれはヘルパーですが、個に寄り添うことの大切さはもちろんのこととして、行動支援を利用する方がもっと社会で輝けるために、社会に対して発信していくことや、社会を変えていくこと、ソーシャルワーク的な取組が大切なのだと、2法人様を見学させて頂き、そのように感じました。

お忙しい中、ご対応頂いた2法人様には本当にありがとうございました。